



# 碓東小通信 培根

安中市立碓東小学校

令和3年4月9日

NO.2

文責 峰岸

## 令和3年度の始業式が行われました

4月7日（水）に校庭で令和3年度の新任式・始業式が行われました。子どもたちからは新しい出会いへの期待に胸はずませている様子が伝わってきました。話を聞く態度もすばらしく、これからの更なる成長が楽しみになりました。始業式の話では各学年ごとに次のような希望を話しました。

- 2年生…1年生にいろいろなことをやさしく教えてあげられるお兄さん、お姉さんになってください。
- 3年生…1・2年生のお手本になる学年です。6時間の日も増えて勉強する内容も増えてきます。授業に落ち着いてしっかり取り組んでください。
- 4年生…クラブ活動など今までになかった新しいことが始まります。失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦してください。
- 5年生…高学年としての役割がどんどん増えてきます。周りのことを考えるのはもちろん、周りのために進んで行動できるようになってください。
- 6年生…いよいよ最高学年です。学校の歴史と伝統は6年生が作ります。6年生がしっかりしている学校は、とても良い学校になります。碓東小学校の“顔”としてがんばってください。

始業式の最後に、児童代表の6年1組 須藤駿さんから、新年度に向けてのすばらしい抱負が語られました。

「全校のみなさんお久しぶりです。新しい学年になり、楽しみな人も数多くいるでしょう。ぼくは最高学年になりこの学校に通えるのもあと1年となりました。この1年を悔いのないよう何事にも努力し、がんばりたいと思います。元気のある優しい言葉にあふれた碓東小にしていきたいと思います！」



## “培根（ばいこん）”の教育を目指して

中央玄関を入ると右側に大きな額が飾ってあります。そこにあるのが「培根」の2文字です。板鼻出身の荒木寅三郎先生が揮毫（きごう：毛筆で文字を書くこと）した作品です。荒木寅三郎先生は東京大学で学び、京都大学総長、学習院院長、枢密院顧問官を歴任された方だそうです。

「培根」という言葉を辞書で引いてもその意味は出ていません。「培」は栽培という言葉もあるように「育てる」という意味があります。「根」は文字通り、草木の根であり、そこから「おもと」という意味もあります。そこから考えると「培根」とは、「おもと（基礎基本）を育てること」という意味になるのではないのでしょうか。小学校の6年間は、子どもたちの将来の夢を花開かせるための根を育てる大切なときです。「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ（相田 みつを）」という言葉もあるように、根の成長はなかなか見えませんが、子どもたちが将来、立派な花を咲かせるための根（学習の基礎基本、基本的生活習慣等）をご家庭と協力しながら、育てていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。

